

科目	公共	単位数	2	履修学年・クラス(講座)	1 学年全クラス
使用教科書	『公共』				
補助教材等	『公共 ワークノート』、『最新図説公共』				

1 学習の到達目標

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする
- (2) 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- (3) よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深める

2 学習方法等(授業担当者からのメッセージ)

○18歳になると選挙権をはじめとした多くの権利や義務が出てきます。現代社会を生きる市民として必要な資質・能力を身に付ける重要な授業です。そうした自覚をもって積極的に授業にのぞんでください。

○授業では時事や私たちの生活に関わる内容を多く扱います。日ごろからニュースを見るなど社会へのアンテナを高くして授業に参加してください。

○タブレットを活用しながら対話的な学習も授業内で行っていきます。いつでも使用できるように準備しておくとともに、主体的な参加を期待しています。

○副教材も活用しながら復習を行い、知識を定着させるように努めてください。

3 学習評価

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
科目ごとの評価の観点の趣旨	現代の諸課題を主体的に考察し課題解決のために必要な知識や技能を身に付けて適切に使っている。	事実を多面的・多角的に考察し公正な判断を行う力を高め、他者との議論を通じて思考を深めることができる。	現代の諸課題を理解したうえで主体的に社会に参画し、自己の在り方生き方についての自覚を深めようとしている
主な評価方法	・定期テスト	・定期テストの「思考・判断・表現」にかかる内容 ・授業内でのレポート等の内容	・授業態度 ・提出物

4 学習及び評価計画

※評価の観点：(a) 知識・技能、(b) 思考・判断・表現、(c) 主体的に学習に取り組む態度

月	単 元	時 数	学 習 内 容	評 価 規 準
4	社会の中の自己	5	現代社会に生きる青年	<p>自らの体験などを振り返ることを通して、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解することができる</p> <p>(a)</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現することができる(b)</p> <p>青年期である自己について、理解を深めようとしている◎</p>
5	社会の中の自己	5	社会的な関係のなかで生きる人間	<p>人間は個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、伝統や文化などに触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解することができる(a)</p> <p>社会に参画する自立した主体とは、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現することができる(b)</p>
6	公共的な空間における人間としての在り方生き方	5	功利主義と幸福の原理 義務論と公正の原理	<p>選択・判断の手掛かりとして行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解することができる(a)</p> <p>倫理的価値の判断において自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け、人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し、表現することができる(b)</p> <p>公共的な空間に生きる公民として多面的・多角的に考えを深めようとしている◎</p>
7	公共的な空間における基本的原理	7	公共的な空間における協働とは 民主主義とは 立憲主義とは 人権保障の意義と展開	<p>人間の尊厳と平等、個人の尊重、民主主義、法の支配、自由・権利と責任・義務など、公共的な空間における基本的原理について理解することができる(a)</p> <p>公共的な空間における基本的原理について多面的・多角的に考察し、表現することができる(b)</p>

8 9	民主政治と私たち	8	民主政治と政治参加	政治参加と公正な世論の形成，地方自治，国家主権，などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができる(a) 国民主権を担う公民として主体的に社会に参加しようとしている◎
10	法の働きと私たち	8	法や基本の意義と役割 市民生活と司法 国民の司法参加	法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解することができる(a) 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる(b)
11	経済社会で生きる私たち	8	現代の経済と市場 市場経済における金融の働き	市場経済の機能と限界，金融の働きなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解することができる(a) 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる(b)
12	経済社会で生きる私たち	6	財政の役割と持続可能な社会保障制度	財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を基に市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていることについて理解することができる(a) 経済に係る現代の諸課題を主体的に解決しようとしている◎

1	国際社会のなかで生きる私たち	6	国際社会のルールと仕組み 国際社会と平和主義	領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができる(a) 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる(b)
2	国際社会のなかで生きる私たち	6	国際平和への課題	国際貢献を含む国際社会における我が国の役割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができる(a) 国際社会を生きる市民としての在り方生き方についての考えを深め、主体的に課題解決をしようとしている◎
3	国際社会のなかで生きる私たち	6	グローバル化する国際経済	経済のグローバル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。）などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，より活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解することができる(a) 自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる(b)